

脱炭素まちづくりアドバイザー紹介

氏名	岡崎 修司		所属	横浜市 脱炭素・GREEN×EXPO推進局 (旧：温暖化対策統括本部)	
専門領域	スマートシティPJ（脱炭素先行地域等）、PPA・VPP、ESCO事業、次世代自動車（インフラ整備等）、地域間連携、水素事業 等		居住地域／活動地域	横浜市	
			派遣形式	スポット型	
略歴	1997～2002年 三菱重工業(株)勤務 2002年 横浜市役所入庁 2015～2022年 温暖化対策統括本部（現：脱炭素・GREEN×EXPO推進局）プロジェクト推進課長 2022年～ 温暖化対策統括本部（現：脱炭素・GREEN×EXPO推進局）企画調整部担当部長（現職）				
過去の地方公共団体との関わり	①地域間連携：横浜市の再エネ供給ポテンシャルは2050年の市内電力消費量の約10%と試算され、市内で発電される再エネ由来電力だけでは電力需要をまかなうことができないと想定されます。そこで、再エネ資源を豊富に有する自治体と「再生可能エネルギーに関する連携協定」を締結し、再エネの創出・導入・利用拡大に資する取組等を共に進めています。 【連携先市町村（2024.2時点）】 青森県横浜町、岩手県久慈市・二戸市・葛巻町・普代村・軽米町・野田村・九戸村・洋野町・一戸町、秋田県八峰町、福島県会津若松市・郡山市、茨城県神栖市、秋田県大湯村、秋田県湯沢市 ②スマートシティPJ：石巻市（石巻スマートコミュニティ導入促進事業）、会津若松市、山元町等の取組に携わりました。				
一言	温暖化対策という難しい課題に、お互いの悩みを共有しながら知恵を出し合い一緒に取り組んでいきましょう。 横浜市として再エネの地域間連携を進めているので、特に再エネを豊富に有している自治体の皆様からのご相談をお待ちしています。				
参考URL	https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/org/ondanka/				